

(仮称)つくし野自治会館事業計画説明会(1回目) 議事録

日時 2019年12月8日(日)午前10時から11時50分
場所 つくし野コミュニティセンターホール
参加者 つくし野住民50名(建設委員8名を含む)
内訳 1.2丁目10名、2丁目15名、3丁目11名、4丁目14名

開会 司会 代谷氏(3丁目)
資料説明 鵜養建設委員会委員長(2丁目) 10時~10時25分

住民意見等

・住民(1.2丁目)

建設予定地が通学路になっている。安全面で心配している。安全マップでは危険個所に指定されている。駐車場が3台では路上駐車が出て見通しが悪くなる。子供の飛び出しとかが心配である。

また、小さい子供を持っている親は、駐車場があるかないかで会館が使えるかどうかもあるので、子供会やPTAでは制約がかかってしまうのでお聞きしたい。近くに駐車場はないのか。

・委員長回答

交通の問題は道が狭いが一方通行にしている。駐車場は3台考えている。基本的に車をずっと止めるということは考えていない。そこは利用者にどう来てもらうのが課題と考えている。近くには駐車場はない。

・住民(4丁目)

巡回タクシーがここを通るのか。

地盤の問題がしっかりしているかを聞きたい。

・委員長回答

巡回タクシーは杉山神社下という停留所が予定されている。その活用もある。歩いて2.3百メートルのところに設置される予定である。車は体の不自由な方は配慮するが、優先的な活用を考えている。

地盤の問題で今暗渠になっている。2004年に水が出た。そのあと排水管の大規模な工事をやって1時間当たり60mmの降雨には対応するようになっている。台風15号で箱根で100mmふったので想定外のこともあり心配もある。

・住民(3丁目)

交通について危険な場所ではないか。

スライドで短所をあげたが、どのように考えているのかを知りたい。

・委員長回答

短所について、運営について、市との関係では住民の代表が運営委員にならざるを得ないが、役員から選出するという事は必ずしもない。自治会が推薦しているということが担保されていればいい。

積極的にやる人に担ってもらうことは可能だ。2名ずつ出してもらい8名でやってもらうが、その人だけではできないので、ボランティアや利用者団体からもお手伝いしてもらう。

クレーム対応は窓口を設定して対応する。

ボランティアはすでにやりたいという人がいる。

お盆やコールドンウィークは365日開けるかどうかは検討する必要がある。あるいはボランティアにやってもらう。営業促進は1年交代の役員では無理がある。地元で精通した人に数年かかって軌道に乗せてもらう。

収入不足のカバーは難しい問題だが、ランニングコスト30万円は12%の利用率はどうかなる、修繕積立金をカバーするには800回の利用が必要になる。当初は難しいが5年間くらいの時間をかけてかなりの努力が必要である。ランニングコストと修繕積立金ぐらいいは見通しがつくのではないかと思う。減価償却費の50万円は難しいと思うが、大変残念であるが、30年から50年後に町田市に土地を返還することも選択肢の一つになる。

つくし野センターとの並立はあると思うが、センターは公共施設の制約がある。飲食ができない。申し込みが定期的な利用というのはいできない。会館ではできる。

・委員

つくし野は人口6600人で少ない、つくし野センターがあるので、自治会館を利用する人が少数になる可能性が非常に高い。センターの利用率や利用回数を分析したところ会館の年間利用回数は260回で光熱水費もまかなえないような赤字になる可能性がある。

修繕費の積み立てには800回の利用が必要で、つくし野センターの第1会議室と第2会議室を利用している回数の6割が自治会館に移らなければ実現できない。

建替経費の積み立てには年間1500回の利用が必要で、これはつくし野センターの第1第2会議室の利用が年間1300回ですから、この利用者が全部移ってもたらないので、建て替え経費の積み立ては不可能と言わざるを得ない。

玉川学園地区は人口が16000人をオーバー(つくし野の2.5倍)しているので、駅前のコミュニティセンターとさくらんぼホールが並立していても黒字になっている。

つくし野と環境が似ている小川会館は赤字で自治会が分担金を出している。

自治会館についてのすべての責任は自治会にあるので、赤字の処理は自治会に責任があり皆さんに負担が回ってくることをよく考える必要がある。デメリットも承知して、賛成反対の判断をすることが大事ではないか。

・住民(2丁目)

他の会館はほかのコミュニティセンターがありながら並立しているのか。つくし野は並立しているので不利な事業展開にならざるを得ない。負担を強いられるのは必至ということになりかねないと思う。センターがあるのだから乗り合いはできないのかな。

建設の費用はどうやって割り出したのか。コンペに掛けたのか。切り詰める余地はないのか。ふれあい基金はこれしか出せませんということなのか。

・委員長回答

センターと併設は玉川学園はセンターとさくらんぼホールが併設している。

小川や高ヶ坂、成瀬は距離が離れている。

つくし野センターと乗り合いは、センターの利用かってをよくする要望の取り組みは必要だと思う。公共の施設と地域の施設の在り方は同じではない。あの地域で杉山会館と一緒にふれあい祭りも考えられる。

建設費用のはじき方は3つの業者に相談した。建築家機構にも相談した。市に認められてから設計して合見積もりを取るの、現在は概算である。

・住民(4丁目)

ふれあい基金の使用目的とはこれとこれがあってこれがベストなのか。私は東北とか長野とかああゆうとこに使いたい。小川とかここも年取ってきて10年後を考えるとかなり高齢化が進んでいく。一人で残されてマンションに移りたい。人口が減る流れの中にある。そこらへんも含めて将来像を考えたほうがいい。

この辺も寺や教会がある。借りに来る。使えるところはいくらでもある。センターでも借り

るのに不自由したことはない。気功を和室でやっている。100%使える。会館を作るのは非常に問題だ。ふれあいの場とあるが、通学の見守りをやっているが変わってくれる人がいない。普段のふれあいの場に力を入れるべきでここが唯一の場ではない。

• 委員長回答

ふれあい基金の使い道が自治会館というのはベストなのかは私にはわからない。ふれあい基金を何に使うかは建設委員会が言う立場ではないが、建設委員会としては会館が地域コミュニティの形成に資すると考えている。

高齢化は進んでいるが、健康寿命を延ばせる取り組みを自治会館ですることでもある。

杉山会館もあるが氏子を使うものがメインである。センターも杉山会館も自治会館もそれぞれの良さを生かして地域づくりができればいいと考えている。

• 住民(3丁目)

箱モノを作って人口 6600 人で負担が増える。ボランティアの人にも負担が増える。センターを使ったり福寿院を使ったりすればいい。ふれあい基金はオペラをやるなどに使えばいい。1500 万円の補助金は我々の市民税なので使わないほうがいい。

• 委員長回答

ふれあい基金の使い道について、私が言うべきことではないことをご理解してほしい。

• 住民(1.2丁目)

心配しているのは若手のボランティアが参加してくれるのか。PTA の役員でも集まる会議自体もやめようといっている。今は夢もあって楽しい集会と言っているが 1 年 2 年は新しいし人も集まるが 5 年 10 年とたつと、次世代が担っていかなければならない。我々 40 台の現状を考えると役員を決めるのも難しい。10 年 20 年先にボランティアを出してくれと我々に期待されてもどうしようと、ここに住んでいていいのかなと心配になる。くれぐれもそのところを盤石にしてくれれば使っていきたいなど思っている。

• 住民(1丁目)

必要性が先にあるとあって農事センターがあったから作るのか。農事センターが借りられるから作るということになったのか。どっちが先だったか。

設計の段階で駐車場がないと歩いていけるのか心配である。

箱モノに使うよりも、高齢者が便利に動ける街、移動手段にふれあい基金を使った方がいい。

• 委員長回答

土地があるということと建設の話が前からあったという両面がある。会館建設の話が始まったのは、2000 年ぐらいからある。全額が補助金だった。2 回目は 2010 年の時で防災倉庫を改修して作ろうという話があった。2 回目は近隣の理解が得られなかった。

立地が悪いことに関連して (コミュニティタクシーの話)。

• 住民(2丁目)

子供の交通安全を第 1 に考えて車の乗り入れなどを検討してほしい。

近所に駐車場は見つからない。確保するのは難しい。車寄せのような発想であるが、地の利的に歩いていくのは難しい場所である。4 自治会でやるのに 4 丁目や 3 丁目は遠くて不便である。全自治会でやるのにバランスを欠いた事業と思っている。

私より若い方が今日はきていない。若い方に興味がない。今後の若い方が担うのにそれを押し付けるのがどうなのかなという気がする。

ボランティアは善意であり、病気にもなる。そこを前提に話を進めるのは無理があると思う。

なぜ 30 年から 50 年後ということになるのか。最初は珍しいので使うがだんだん遠のくというのが普通の感覚ではないか。30 年 50 年後というのは甘い。

住民の負担が表に出さないように、ふれあい基金を 100 万円ずつ切り崩して行って、気がついたらなくなっているということにならないのか。

説明を尽くしたのでアンケートを配りたいというが、全戸配布した資料は楽しい夢のあるこ

としか書いていない。2丁目はデメリットも書いた資料を添付して配布した。ほかの自治会には配られていない。メリットデメリットを承知して判断できるように2丁目で配布した資料を添付してアンケートをやってほしい。

アンケート回収率60%で2/3の賛成だと住民の40%の賛成でしかない。それでいいのかというの疑問もある。

・委員長回答

4丁目の人が遠いが、長靴公園の近くの人が町トレで杉山会館に来ている。

30年から50年の話は、建て替え経費でその時の話で普段は外部流出していかない。

2丁目自治会の資料は2丁目の判断でやってもらった。そのほかはそれぞれで検討してくださいということです。

・委員

(2丁目自治会の配布資料を読み上げ)。こういう資料をアンケートに添付してくださいということです。アンケートは自治会の意思を決めるためのものだから本来は自治会がやるものだと思う。ですから自治会として建設委員会にこういうアンケートを実施してほしいということを行っている。2丁目の資料は建設委員会が言っていることを書いているに過ぎないのでぜひ回してほしい。

・住民(4丁目)

建設委員会が出すアンケートだからそれに反対する反対しないというのは各住民の判断です。判断するための情報として友井さんが言われたが、いまそのようなことを出すのであれば建設委員会でもみ合った文章にしてもらわないと、4丁目で検討したがあまりセンセーショナルな文章で建設委員会が認めている文章ではないなということで4丁目では配らなかった。

建設委員会がアンケートを実施してそれをもとに自治会に諮るということで自治会がやるものではない。自治会がそのあとに判断するものである。

・委員

建設委員会の資料は夢のことばかり書いてあるのでこれをもとに判断してもらうのはいかかなものかということで、デメリットも書いて、いいも悪いも知ってもらって判断してもらおうということで建設委員会の了解のもとに2丁目自治会では配布した。

会館にインターネットのワイフアイ引いて24時間ライブでカメラ映像流すと楽しい会場ができるかもしれない。ボランティアでいるのは今日は林が当番やっている、趣味はカメラで、写真撮っている人がいればフリールームで写真を見せ合うということもできる。

メルカリとか若い人が不用品を売ったり買ったりしている。皆さんの年齢でメルカリやっていないと思うが会館があればいらなくなったテーブルを持ってきてもらって売り上げの2割は会館の運営費というように工夫をすれば800回も貸さなくてもいい可能性もある。

・住民(2丁目)

こんなにいい話を反対する人がいるんだ。金があつて土地があつて今を逃したら自治会館はできない。町田市で自治会館ないのはほんの数自治会である。自治会活動をやるのに使える場所がないというのは活動しにくい。ボランティアも自主防災でも1~4丁目で何年もボランティアをやっている。駅前の花もボランティアがやっている。いっぱいボランティアはいる。運営費で赤字に出たらとか利用回数の話があるが、自治会の自治会館つくるのに各自治会が負担するという話が一切出ない。1700世帯あるから自治会費から一人が年間200円負担すれば34万円、300円負担すれば51万円である。たいしたことではない。こんなにいいせっかくの機会を逃すということはない。もっと建設委員会はポジティブなことを言わないとそういうことを宣伝してほしい。

以上